

知ら咲か



2015 SEPTEMBER

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3

URL <http://www.shirasaka8.net/>

白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして「知らせましょ・咲かせましょ(通称“知ら咲か”）」という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTel070-5041-4405 石田まで)

三年目の粗大ゴミ回収四十戸よりご要望 タンス類など大型家具類も多数

居室で不要になった大型家具やちよつとした粗大ゴミ。マンションの場合には所定の場所までの移動が困難なために長年、そのままにしているご家庭が多いようです。「知ら咲か」ではここに注目し、毎年、居室の整理の一助にと回収を行っています。本年も四十戸の方からのご要望がありました。

所定場所への運搬がネック

宝塚市の粗大ゴミ回収は二通りあります。一つ目は前日までに予約・受付センターへ予約し回収してもらう方法です。粗大ごみ処理券を予約時に確認した金額分を購入し、記名欄に記名の上、粗大ごみに貼り、予約した所(収集車が横付けできる所)まで運び出してください。収集時の立ち会いは不要です。

もう一つは前日までに予約・受付センターへ予約し、所定の時間に直接クリーンセンターへ持ち込む方法です。いずれも、マンションであれば居室の部屋からの運搬を自力で行わなければなりません。この「運び出しと運搬」がお一人住まいやご高齢のご家族には負担となりネックとなっています。

ネック解消に「知ら咲か」の回収

「知ら咲か」は地域の「助け合い」

「支え合い」を一つの柱にしています。

「住みやすい環境づくり」のためにネックとなっている「運び出し・運搬」のお手伝いをできれば問題の一つが解決できるのではとして企画したのがこの「粗大ゴミ回収」です。

現実問題としては、運搬等の力仕事をこなせる「知ら咲かサポーター」が少ないのも事実です。これを専門の方に担っていただく方法を練り上げ、本年は実施致します。「知ら咲か」メンバーは現場に立会い管理をさせていただくことにしています。

【回収要望速報】

ご要望者…四十名
 要望個数…百八十六個
 要望内訳…パークマンション二戸、アヴェルデ四戸、宝塚西山住宅三戸、グリーンハイツ十六戸、逆瀬台マンション三戸、逆瀬台住宅三戸、逆瀬川マンション九戸。

会員継続・加入は次号折込みで

「知ら咲か」の活動に共感いただき、支えていただける方に会員、賛助会員、寄付等でのご協力をお願いします。いつでも受付はしますが、簡単に手続きいただける「郵便振替」の方法をお勧めしています。少し作成が遅れていますが、次号で折り込み、お願いの予定です。ご協力の程、よろしくお願い致します。(加入は強制ではありません。皆様の自由な判断にお任せします。)


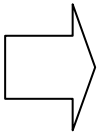


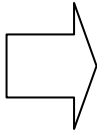


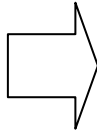

知らせましょ・咲かせましょ会費・広告・寄付等

個人正会員会費	総会に出席し会務や役員選任等の議決に加わる	3,000 円
個人賛助会員	会の主旨や活動に賛同し会費協力いただける方	3,000 円
団体正会員	総会に出席し会務や役員選任等の議決に加わる団体	20,000 円
団体賛助会員	会の主旨や活動に賛同し会費協力いただける方	20,000 円
広告折込み料	A4 又は A3 広告を持込み折込	10,000 円/回
〃	広告原稿持込み当方印刷	13,000 円/回
HP リンク 広告	名刺広告年 6 回掲載、ホームページにリンク	30,000 円/年
寄付	会の主旨や活動に賛同協力いただける方(口数制限なし)	1,000 円/口

郵便振替口座名称: 知らせましょ・咲かせましょ口座番号 00970-7-208257 番

市民の気づきから安全なまちが・・・(後編)

*一市民がまちを歩いていた時のふとした気づきを、行政がすぐ取り上げ改善した事例です。
先月号に続き、アヴェルデの都築直幸さんの貴重な活動事例を紹介致します。

	気 づ き と 対 応	依頼先 実施時期
8	<p>ゆずり葉緑地内の東屋の鉄骨の柱、梁の塗装が経年により剥離し、錆が発生している。特に柱脚部の発生がひどい。放置すれば転倒に至る為、早期の補修を依頼。 補修内容：柱・梁・屋根材を含め、全面塗装替えを実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>	<p>市公園 緑地課 平成 26 年 6 月</p>
9	<p>ゆずり葉緑地内の遊歩道の路面が痛み凹凸がひどく、歩行に支障をきたす状態になっているため、補修を依頼。 * 県道 16 号から公園に入って直ぐの場所。 補修内容：路面の凹凸を直し、周辺を含め土を入れて転圧。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>	<p>市公園緑 地課 平成 26 年 6 月</p>
10	<p>ゆずり葉緑地内の東屋の近く（東側）の歩道で急勾配になっている所があり、急勾配かつ凹凸が激しく歩行が困難な場所の路面補修を依頼。 補修内容：凹凸部分を直し、周辺を含め土を入れて転圧。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>	<p>市公園緑 地課 平成 26 年 6 月</p>

<p>11</p>	<p>アヴェルデ 3 番館南側の県道 16 号線沿いの歩道上に有る、マンホール 2ヶ所が陥没しており、歩行者がけつまずき転倒する危険があるため補修を依頼。 補修内容：陥没しているマンホールを取り外し、改めて路面の高さに設置替えした。</p>	<p>市下水道課 平成 26 年 5 月</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>		
<p>12</p>	<p>アヴェルデ 3 番館南側歩道沿いの、傾斜している排水溝の蓋が東側に約 1 m ずれて、溝蓋が無い状態になっており危険なため、ずれを元に戻し危険な状態を無くするよう依頼。 ・公園緑地課の対応：溝蓋が無い部分に新たに溝蓋を取り付けた。</p>	<p>市公園緑地課 平成 26 年 6 月</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>		
<p>13</p>	<p>アヴェルデ 1～3 番館南側の遊歩道沿いに設置されているベンチの座板が腐食し、外れる状態になっている箇所が有り、危険なため補修を依頼。 ・補修内容：腐食している箇所の座板を全て取り替えた。</p>	<p>市公園緑地課 平成 27 年 4 月</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>依頼前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>実施後</p>  </div> </div>		

グリーンーンハイツ夏祭り大いに盛り上がる



お盆の十六日、恒例の夏祭りが行われました。今にも降りそうな空模様でしたが、公園での決行となりました。来場者の出足は良く、グリーンハイツ以外の方も大勢みえました。



客席も満席近くになったところで第一部の始まりです。



ゲストは昨年同様小林の「Aの会」によるハーモニカ演奏。女性二人、男性三人のグループで、平均年齢八十才。合奏四曲、独奏五曲、聴衆の皆さんとの合唱曲六曲の演奏。鉄案アトム、高校三年生、赤とんぼ等良く知っている曲ばかりで拍手喝采でした。

ここで、心配していた激しい雨が降り始めさあ大変・・・！この雨も直ぐに止んでやれやれ・・・！

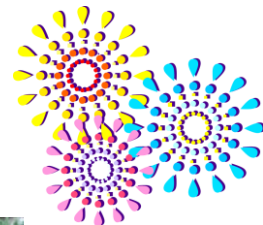
二部は盆踊り！曲が流れたすとタチマチ踊りの輪が出来上がりました。浴衣姿のご婦人数名を先頭に盆踊りの始まりです。



一方子供達は輪投げ、スマートボール掬い等楽しいゲームで賑わったの言うまでもありません。



続いて待望の抽選会が始まりました。魚沼産のコシヒカリや大玉スイカ等豪華賞品が当たる為その都度大きな歓声や拍手、ため息で大いに盛り上がりました。



1等 魚沼産コシヒカリ 5kg	2本
2等 大玉西瓜	4本
3等 スパドワイ6玉	6本
4等 魚沼産コシヒカリ 2kg	10本
5等 オリブオイル	10本
6等 流石巻刺	10本
7等 ジュース 400ml	10本



プログラムは順調に進み、最後は打ち上げ花火でお開きとなりました。自治会行事としてこれだけ多くの人たちが集まったことは見事なパワーであり素晴らしい事だと感じました。実行委員の皆様お疲れ様でした。

「ゆずり葉緑地 元気」夏休み子どもラジオ体操

多くのお友だちが毎日元気に参加しました



「ゆずり葉緑地 元気」が主催する夏休み子どもラジオ体操は 8 月 1 日から 7 日までの 1 週間、毎朝 6 時半から 40 分まで多くのお友達が参加して行われました。

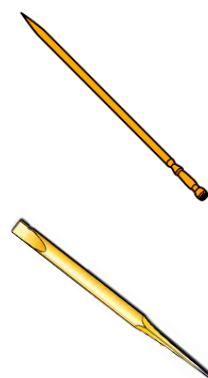
朝起きるのは大変だったけど、多くのお友達やお父さん、お母さんも一緒に頑張って通いました。7 日には皆勤賞で「ごほうび」をいただきました。

大人の人たちは夏も冬も毎日やっているそうです。何時、行っても誰かがやっているのだから休みの日には出来るだけ行こうと思いました。



【管理人徒然草】「 気 質 」

皆さんが爪楊枝を買われるのは、台所用品売り場で、直径 2mm 位、長さ 6.5 cm の丸く先のとがった棒で、元がこけし状に整形されたものでしょう……。これはクッキングスティックで料理の小道具として使われるものです。しかし 食後これを使って歯の間を掃除しているのをよく見掛けますね。これでは歯間乳頭（歯の根元で、隣の歯との間に盛り上がる歯茎の先端）を傷めて歯茎の病気の元となることがありますので、歯の掃除には三角爪楊枝（デンタルスティック）を使うようにして下さい。薬局で求める事が出来ます……。



力説する A さんは河内長野で親の代からの爪楊枝製造業です。この地方には「無患子」（むくろじ……羽子板の羽根に使われた黒くて硬い核のなる木）が沢山生

え

ていて、これを材料にして産地が形成されてきたようです。今では北海道から白樺を移入して、次第に減少しながらも河内長野の地場産業として続いています。ほとんどの業者は、機械作りのクッキングスティックを製造していますが、一人 A さんのみ「△爪楊枝」を作り続けています。

社内の 30 m² 位の部屋に「爪楊枝博物館」を創り、楊の枝を削っただけの原始的な楊枝、先端を潰した房楊枝（歯ブラシ）、中国の宮廷で活用されたであろう金の爪楊枝、竹ベラに獣毛を植えた物など……

古今東西の爪楊枝、楊枝を展示しています。見学者にはこれらのコレクションを説明しながら、仏典でも説かれている「お口の健康」の大切さを訴えています。

以前 お掃除のトップ企業から「当社で販売しないか……」との誘いがあり、商談した事がありました。当社の規模、能力に比べ、求められる数量、投資があまりにも大きく、「これでは、母屋をとられるだけ……」「過大な宣伝、投資をしても、一般の爪楊枝の 5 倍の値段のものに、歯の健康の為……として消費者が買ってくれるだろうか……まず期待できない……」等考慮の結果、自分の身の丈に合った事業を続ける……とお断りしたそうです。

現在も歯間ブラシ、糸楊枝と共に「△爪楊枝」を作り続け、「お口の健康グッズ」として、薬局を中心に販売を続けています。最近では、料亭等で少しずつ使ってもらえるようになったようです。

急成長時代、誰もが乗り遅れないように……と数量拡大に血道をあげたものだが、自分の能力、技量をわきまえ、「俺はこの道に行く……」「決められたことをやり抜く……」気質が良かったのかな……と述懐する A 氏。従業員三十数名の優良企業です。

（水兵子）

8 月 30 日～9 月 5 日は防災週間です。

平常時から災害に対する備えを心掛け、災害時には自ら身の安全を守るとともに、地域が連携してお互いに助け合うことが大切です。

9 月 1 日（火曜日）防災の日に、宝塚市はツイッターを活用した全国防災訓練ツイートをを行い、市ホームページのトップページに訓練記事が掲載されます。ご確認ください。



防災についての問い合わせは都市安全部 危機管理室 総合防災課で受け付けていただけます。

（参考：宝塚市ホームページ）

他地域の方からの寄稿

「人の輪(和)を大切に」

「I さん」との出会い

7 月上旬に学校の同窓会近畿支部総会があり、散会のあとお声を掛けて頂き名刺交換をしました。

毎年お互いに出席していながらご縁がないまま今日に至っていましたが、その種の眼力をお持ちの I さんからお声を掛けて頂きほんの数分の立ち話でしたが私もピンとくるものを感じました。

頂いた名刺の内一枚にお住いの地域の活動についてのものもありましたので、ホームページを拝見し本当に素敵な活動をされていることを感じました。

お誘いを受けて後日、本町のオフィスへお邪魔し、二時間間半、多方面にわたり話が弾みました。



「知ら咲か」の活動

とかく都市周辺でしかも大規模マンションというと、どうしても近隣同士のお付き合いも疎遠になりがちですね。奥様同志は平素から親しい関係はできているものの、旦那は現役時代の友人が優先、地域社会への同化は何かの機会があれば・・・このケースが一般的で私の場合も同じパターンでした。

それにしても「知ら咲か」の活動は歳月と努力の賜物で、誠に素敵な活動を展開されていますね。人は一人では生きていけないのであって、熱心なリーダー群と皆さんの協調・協力があってはじめて楽しい住処が出来るのだと思います。

そして何かあった時のプラス思考もまた大切だと思います。

「私の生き方」

人はこの世に何のために生まれて来るのか。心を少しでも向上させてあの世へ帰っていくのだと思います。

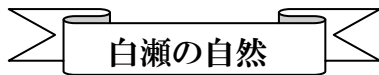
そのために

- ・人のつながりを大切に
- ・明るく、前向きに
- ・一隅を照らす



ことを念頭に出来るだけ多くの方と交わり、人生観を養い、さらに磨きをかけたいと思っております。

宝塚近郊市の大型住宅団地に住まいする H・K



ふれあいサロンアヴェルデ

講師をお迎えし「身近な野鳥あれこれ」を聞きました

8月8日(土)、ふれあいサロンアヴェルデはこの地域でも見られる身近な野鳥のお話を聞きました。講師の先生は地域にお住まいで宝塚野鳥の会でもご活躍しておられる佐々木薫先生です。

アヴェルデで、朝早くから賑やかな鳴き声を耳にしている鳥のお話からです。事前打ち合わせの時に、住民の方の気になる鳥を聞いて急遽お話に加えていただきました。

その鳥の名前は「イソヒヨドリ」。ヒヨドリと呼ばれても分類学的には違う区分です。元々は磯にいた鳥だそうです。雄と雌では



色具合が異なり、雄のブルーの色は鮮やかです。

次いで身近な鳥としては「ツバメ」があります。

喉が煉瓦色、下の方が白のものは正式名称を「ツバメ」と言い、腰が橙色、お腹も白くなく縦の筋に見える「コシアカツバメ」がいます。アヴェルデでは最近「コシアカツバメ」がたくさん残っているそうです。

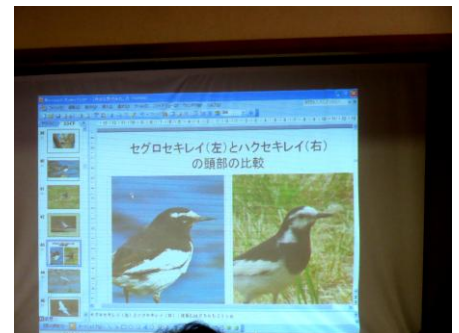
カラスも身近にいますが、くちばしが大きくおでこがある「ハシブトガラス」、これは植え込みのナンキンハゼを食べに来ます。もう一つの種類はおでこが殆ど無い少し小振りて嘴が細い「ハシボソガラス」。逆瀬川でのカラスの一家のお話も面白く語られました。

お話はまだまだ沢山ありました。ハト、シラサギ、宝塚のシンボル鳥のセグロセキレイ、それと似たハクセキレイの違い、カルガモとマガモ・・・、その他にも沢山の鳥のお話を伺いました。

色々な鳥に出会える時期も異なります。年中合えるのが「留鳥」。スズメ、メジロ、ヤマガラ、キジ、アオサギ、カワウ、カルガモ、セグロセキレイなどです。春から秋までは「夏鳥」。ツバメ、アマサギ、ホトトギス、オオヨシキリ、オオルリ、キビタキ、アオバズクなど。

秋から春までは一つは国内の寒冷地から越冬に来る「漂鳥」。コマドリ、ウソ、カヤクグリ、オシドリなどです。外国から越冬に来るのが「冬鳥」。ツグミ、マヒワ、ジョウビタキ、アトリ、ヒドリガモ、ユリカモメなどです。そしてコチドリ、クサシギなどは春と秋の二回通る「旅鳥」です。

楽しいお話をお聞きし、素晴らしい先生の住むこの地域と自然を誇らしく思った一日でした。



【編集後記】

猛暑の今夏も漸く峠を越えて朝夕は
凌ぎやすくなりました。

今春から一念発起して、通勤時に自宅
から逆瀬川駅間を週4日は歩き、朝は会
う人毎に笑顔でご挨拶。十人中九人にま
では返礼を頂けるようになりました。

最初のころは見知らぬ人ばかりで気
後れしていましたが、しばらくすると先
様からご挨拶いただけるようになり、笑
顔でのご挨拶が身につきました。

「友人はいなくても生きていけるが、隣
人がいなくては生きていけない」との諺
も納得です！

加古川グリーンシティ防災会講演会
で「助け合いで大切なことは先ず挨拶」と
教えられました。向三軒両隣から地
域社会全体に広げて行きたいものです。
大型ゴミ廃棄は今回で三度目となり
ますが目下、三十五戸の方から百七十三
点の搬出ご要望を承りました。九月には
事務局からご連絡又はお伺いして、十月
以降に回収予定です。ご関係の皆様のご
協力をよろしくお願いいたします。

(事務局・石田)